

# イスラム教を正しく理解してもらう

## Make Islam understand correctly

中村健之介

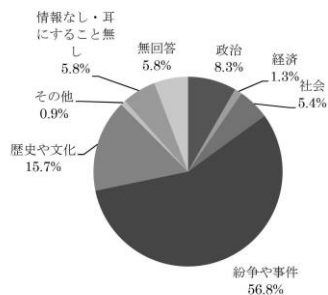
指導教員 西野隆司

サレジオ工業高等専門学校デザイン学科 価値創造研究室

### 研究目的

近年、一部のイスラム教過激派によるテロが世界各国で起きていることで、イスラム教への偏見や一般のムスリム（イスラム教徒）に対する差別意識が広がっている。

現在、日本ではイスラム教関連のテロは発生していないが、イスラム教が普及していないため、イスラム教の文化への理解度が低く、テロなどの報道で偏ったイメージがある。



グラフ1 イスラム教に関して最も耳にすること

(参考文献(1)から出典)

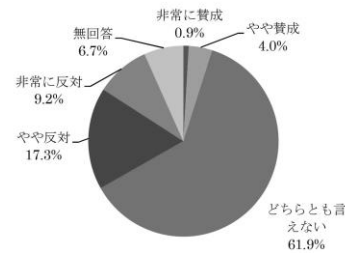
そのため、日本にいるムスリムは生活する上で困難があると考えた。また、2020年東京オリンピックに伴い旅行者が増えると考えられ、その中にはムスリムも含まれる。さらに中東情勢の悪化で日本への移民が増える可能性がある。

そのことから日本人がムスリムと接する機会が増えるため、トラブルが起きないようにイスラム教について正しい知識を身につける必要があると考えた。

### 調査内容

調査活動によって日本ではまだイスラム教が普及していない影響で欧米ほど差別や偏見はないことがわかった。しかし、ムスリムの受け入れにつ

いては否定的な意見が多い。



グラフ2 ムスリムの受け入れに対する賛否

(参考文献(1)から出典)

また、文化の違いなどからムスリムが日本で生活するなかには大きく分けて3つの問題がある。

1つ目は飲食の制限による問題である。イスラム教では酒類や豚肉の摂取が禁じられており、豚肉を除いた肉類でもイスラム教の儀式に則った処理をされていなければ食べることを禁止されている。その他の食材でも一定の作法に基づいて調理されなければならないうえに、禁じられた食材と接触があってはいけない。これらが厳守された食品を「ハラールフード」と言う。そのため、日本では食品を購入する場合、使用されている材料や加工方法を確認しなければならない。また、レストランなどで食事をする場合でも同様である。そのため、ムスリムの子供を日本の学校に通わせる場合、学校の給食はハラールフードでは無いため、ムスリムの子供は弁当を持たせるしかないが、その結果、他の生徒から孤立してしまう心配がある。

2つ目は礼拝習慣に関する問題である。イスラム教では1日に5回、決まった時刻に聖地であるメッカに向かって祈りを捧げなくてはならない。しかし日本では、近くにモスクが無い場合、礼拝の

場所を確保することが難しい。また、礼拝の時刻は日によって変動するため、日本では礼拝の時刻が分かりにくいことも問題となっている。

3つ目は価値観の違いによる問題である。

イスラム教では成人のムスリム男性は臍から膝まで、女性は顔・手首・足首以外の全身を家族以外の異性の前では隠すことが望ましいとされている。しかし、日本のテレビ番組で異性の露出を目にすることがある。また、プールやビーチなど日本では男女の区別が無い施設を利用することで異性の露出を目にしたり、異性に触れたりしてしまう危険がある。さらに、小学校での体育の授業も男女混合で行うためイスラム教では問題とされる。

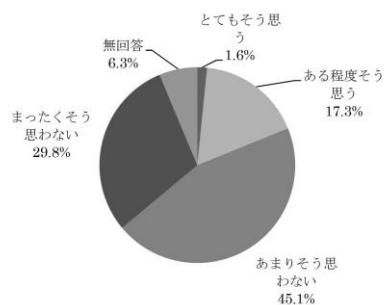
## コンセプト

コンセプトは「親子で学ぶ」とした。

事前調査により、ムスリムに対する偏見は旅行者や労働者などの大人だけではなく、日本に住むムスリムの子供にもいじめなどの影響があることがわかった。そのため、親子で一緒にイスラム教の正しい知識を学ぶことが必要だと考えた。

## アイデア展開

早稲田大学人間科学学術院アジア社会論研究室が2009年10月から11月にかけて岐阜県岐阜市において行った「外国人に関する意識調査」の内、「イスラム教のことについてもっと知りたいと思いますか」という問いに対しての回答は、「そう思わない」というマイナス意見の合計が74.9%という結果になっている。



グラフ3 イスラム教に関する知識習得の意欲

(参考文献(1)から出典)

このことから、イスラム教にまず興味を持ってもらうために、親子で学べるクイズ本を制作することにした。

これは簡単なクイズ本の形式にすることで、子供を持っている親を対象にイスラム教について興味を持ってもらえると考えたからである。

また、簡単なクイズだけでなく、詳しい解説ものせることで子供も大人も楽しむことができ、子供が大きくなったとき、さらに理解することができると考えた。

内容は、今回調査した飲食、礼拝習慣、価値観の違いについてのクイズとイスラム教の教義を紹介しようと考えている。

## 今後の展開

イスラム教の教義についてさらに調べる、ムスリムの方にインタビュー等を行うなどさらに調査を進め、内容を深めていく。

また、現在販売しているクイズの本等を調べるなどクイズについて調査する。

## 参考文献

(1) 店田廣文・岡井宏文：「外国人に関する意識調査」 岐阜市報告書、早稲田大学人間科学学術院アジア社会論研究室、2011年、

(2) 中野祥子・奥西有理・田中共子：在日ムスリム留学生の社会生活上の困難、岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要第39号、2015年、

(2) 丸山英樹：滞日ムスリムの教育に関する予備的考察、国立教育政策研究所紀要 第136集、2007年、